

科目名	西洋美術史		教員名	伊藤 淳	
Subject	History of Western Art				
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	△		○		
科目の概要	世界は今、各地で様々な問題を抱えながら急激な発展、変化をしています。そうした地域の問題を理解するには、背景となっている歴史を知ることが必要不可欠です。この授業では、西洋美術という切り口で、各時代の文化、風土、政治などを紹介し、人類が制作してきた美的遺産を総合的に見ていきます。また美術作品を鑑賞する上で必要かつ基本的な知識や事柄があります。特に西洋美術には様々な「約束事」がありますので、複数の関連する絵画、彫刻などの作品を交えながら美術解説を進めていきます。勿論、美術は理論だけでなくむしろ感性にも大きく関わる分野なので、学生との活発な意見交換をしながら理解を深めていきます。授業形式として効率よく学習するために、最初に前週に行った授業の再確認をし、その後でその週の授業内容をプロジェクター映像で見えていきます。またこの授業と併せて「日本・東洋美術史」や「批評概論」を受講し、世界全体の美的概観を捉えることが望ましいです。				
授業の目標	1. 人にとって美とは何かを西洋美術を通して理解することができる。 2. 西洋の歴史、文化、風習に関係する美術作品の鑑賞の基礎力が習得できる。 3. 西洋美術の主題(宗教・神話など)とそこに登場する定型物の意味の基礎知識が習得できる。 4. 西洋の美術作品に登場する代表的な寓意物の基礎知識が習得できる。 5. 美術館、博物館などで行われている展覧会に実際に訪れて、展示されている美術作品の初歩的な解説と批評能力が習得できる。				
時間外学習 (予習・復習)	(予習) 次回の授業内容に関わる専門書や映像などを調べて、その内容を把握すること。また美的価値観を刺激するためにも日頃から広く日本や西洋の美術作品や文化に触れてみること。(11時間) (復習) 授業で行われた内容を専門書や映像などで再確認すること。そして実際に美術館や博物館を訪れて作品を鑑賞し、その後、関連する美術の解説書などで知識を深め、ものの見方を訓練すること。(11時間)				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	なし			
	使用設備・備品	プロジェクター			
	参考文献	『キリスト教絵画の見かた』千足伸行 東京美術 2005年			
評価方法	毎回の授業における発言などの学習意欲(50%)、最後に行われる筆記試験(50%)で総合的に判断します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	毎回、筆記用具は必需品です。				
本科目履修と関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	○西洋における美とは ○西洋美術の見方	日本美術と西洋美術の特徴を説明できる。	(予習)「モナリザ」について調べてくること。(45分) (復習)西洋と日本の美術について比較してみる。(45分)
第2回	○古代エジプト美術 ○エーゲ美術	古代エジプトの思想と当時の人生の美的生き方を説明できる。	(予習)古代エジプトについて調べてくること。(45分) (復習)古代エジプトの死生観を確認する。(45分)
第3回	○古代ギリシャ美術	古代ギリシャ芸術のプロポーションを説明できる。	(予習)古代ギリシャについて調べてくること。(45分) (復習)古代ギリシャの美的基準を確認する。(45分)
第4回	○古代ローマ美術	古代ローマ建築と生活様式を説明できる。	(予習)古代ローマについて調べてくること。(45分) (復習)古代ローマの風習を確認する。(45分)
第5回	○初期キリスト教美術	新約聖書の物語を述べることができる。	(予習)参考文献について調べてくること。(45分) (復習)キリストの話の流れを確認する。(45分)
第6回	○ビザンチン美術	モザイクの光沢美を感じることが出来るようになる。	(予習)ビザンチンについて調べてくること。(45分) (復習)モザイクの仕組みを確認する。(45分)
第7回	○ロマネスク美術	修道院生活における美術を説明できる。	(予習)キリスト教について調べてくること。(45分) (復習)修道院の役割を確認する。(45分)
第8回	○ゴシック美術	中世の建築技術を説明できる。	(予習)中世建築について調べてくること。(45分) (復習)ゴシック建築の仕組みを確認する。(45分)
第9回	○初期ルネサンス	遠近法の空間と人体表現を説明できる。	(予習)ルネサンスの意味を調べてくること。(45分) (復習)美術とパトロンの関係を確認する。(45分)
第10回	○盛期ルネサンス ○マニエリスム	レオナルドなどのルネサンス三大巨匠の特徴を説明できる。	(予習)三大巨匠について調べてくること。(45分) (復習)天才の概念を確認する。(45分)
第11回	○バロック美術	光と闇の演出を感じることが出来るようになる。	(予習)明暗法について調べてくること。(45分) (復習)フェルメール作品を確認する。(45分)
第12回	○ロココ美術	フランスの宮廷美を説明できる。	(予習)ヴェルサイユ宮殿を調べてくること。(45分) (復習)ロカイユの意味を確認する。(45分)
第13回	○新古典主義 ○ロマン主義	古典美の復活とその反動を説明できる。	(予習)フランス革命について調べてくること。(45分) (復習)ナポレオンに関する作品を確認する。(45分)
第14回	○印象派・後期印象派	近代都市の発展と美的価値の変化を説明できる。	(予習)印象派の画家について調べてくること。(45分) (復習)写真が起こした影響を確認する。(45分)
第15回	○まとめと解説	西洋美術史の全体を通して多角的に把握することができる。	(予習)今までの授業内容について見直すこと。(45分) (復習)西洋美術の概観を押さえる。(45分)